

## 令和6年度 経済常任委員会

- |   |       |   |  |
|---|-------|---|--|
| 1 | 日     | 時 | 令和6年11月8日（金）午後4時58分～午後6時34分                                  |
| 2 | 場     | 所 | 安平町商工会館会議室   |
| 3 | 事     | 件 | 商工会及び建設協会、議会経済常任委員会との懇談会                                     |
| 4 | 出席委員  |   | 鳥越委員長、米川委員、高山委員、梅森委員   |
| 5 | 欠席委員  |   | 田村委員   |
| 6 | 委員外出席 |   | 多田議長   |
| 7 | 出席者   |   | 安平町商工会 会長、副会長2名、理事1名、<br>熊谷事務局長<br>安平建設協会 会長、副会長2名、理事1名、監事1名 |
| 8 | 事務局   |   | 木林事務局長   |

---

### 会議の経過

○熊谷局長 若干早いのですが只今より令和6年度安平町議会経済常任委員会との懇談会を開会します。懇談会に先立ちまして、ご挨拶をいただきたいと思ひます。はじめに安平町商工会会長お願いしします。

○商工会 おぼんでございます。懇談会に先立ちまして一言ご挨拶申し上げます。本日は季節柄お忙しいところ多田議長様、鳥越委員長様をはじめ、委員の皆様のご出席を賜り厚くお礼を申し上げます。安平町の商工業者の現状については震災、コロナ禍を経てそのまま物価高騰、資材高騰など大変厳しい状況が長く続いています。この状況を脱するのは容易ではありませんが、商工会役員一丸となり、これから頑張っていきたいと思ひます。本日の懇談が、より有益なものとなることを期待申し上げまして一言ご挨拶をさせていただきます。よろしくお願ひしします。

○熊谷局長 会長ありがとうございました。続きまして安平建設協会会長お願ひしします。

○建設協会 今日は忙しいところありがとうございます。町議としても、うち

ら商工会、建設協会、目指すところは住みよいまちづくりだと思います。それにはいろいろ年数も経ち、うちらも要望書が何点かありますが、終わっていなきゃならないところも多々あると、皆さんもご存知のとおり多々あると思います。仮に道路を走っていても凸凹になったり直さなければならぬと思うところは多々あると思いますので、その辺要望をこれから申し上げますが、町の方にも要望書を出していますがなかなか現実にはならないのが現状です。その点を踏まえて議員さんにも一声かけてもらえれば幸いだと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○熊谷局長 ありがとうございます。続きまして安平町議会経済常任委員会鳥越委員長をお願いします。

○鳥越委員長 こんばんは。この度副委員長をずっと委員長の代理で来ていましたが、この度改めまして委員長にさせていただきました鳥越と申します。どうぞよろしく申し上げます。経済委員会に戻ってきてから毎回同じ内容かなという要望をいただいてなかなか皆さんの要望が通っていないのだなというのが感じるころではあります。私たち、先ほど会長がおっしゃったように目指すところは良いまちづくりになりますので、今日のこの会議でお互いに良い案があれば、出ればいいなと思っておりますし、私たちが皆様からの要望を町の方に伝えてできるだけ沿っていきたいと思っておりますので、皆様どうぞ今晚よろしく申し上げます。

○熊谷局長 ありがとうございます。それでは早速、第5の懇談に入りますが、先に商工会と建設協会から要望事項等を説明しまして、その後懇談していきたいと思っております。

まず商工会からの要望事項等について説明します。次第とは別に別紙でお配りしているのが今回の要望事項となっておりますが、商工会については片面の資料となっております。それでは説明します。安平町商工会では町からの様々な補助金のご支援をいただき、各種事業の運営を行っています。令和6年度の町補助金は下記のとおりです。また、令和7年度についても同様に要望を提出しています。今後についても引き続きご支援いただけるよう町への働きかけなどをお願いします。補助金の現状については記載のとおりとなっております。

2番目、追分ふれあいセンターいぶきの町への移管については、昨年の懇談会で町と協議していきたい考えをお示ししました。今年の通常総会に

において事務局の統合と町への移管に向けた協議を進めるということを経営年度の事業計画の重点事業に位置づけし承認されたことから、町に対して譲渡の移行を正式に伝えたところです。今後については移管に向けて検討協議してまいります。商工会からは以上です。

続きまして建設協会から説明をお願いします。

- 建設協会 建設協会から説明したいと思います。要望が3つあるのですが、まず先に資料1と2で、震災3年前と震災後3年の受注金額、これは協会加入者のみの金額を記載しています。その中でも土木工事の金額を記載して載せています。その中で要望1として土木工事が少なくなっているため、町道の維持、除雪関係等で従業員を確保できない状態となってきました。その金額が少ないために1年間受注ができないため、受注機会が無いと作業印が確保できない状況です。

要望2として町の河川ニタッポロ川、トキサラマップ、湯の沢河川など町の河川、小さい川とかも改修工事を増やしてもらいたいと思います。近年降水量が増えてきており、ゲリラ豪雨などで川が氾濫するようになってきていますので、改修工事をして災害の無い町にしたいと思って要望したいと思います。

あと下水道工事が終わったので、これからは町内の舗装工事、特に本線が大分表面が傷んできていますので、その工事でも発注をお願いしたいという要望が町民からもありますのでよろしくお願ひしたいと思います。

4番目として、この間の議会でもあったのですが、みずばしょう公園で事故があったということで、町内の公園を見たらかなり小さい公園、町内会の公園が老朽化して、管理が行き届いていない状態のところが多いと思っています。それで草刈りなど公園の管理など含め、あと公園の修繕、その辺の整備の工事を発注してもらいたいという要望もよろしくお願ひします。

それと年に2回、工事の情報が政策推進課から発注情報がホームページで出ています。ただ、これが年に2回なので夏の時に予定していた工事が秋口に工事が無くなっている状況がここ何年か見られています。それで、その工事を取ろうとしている業者もありますので、予定している業者が工事が無いと受注ができない状況がでてます。それで政策推進課にお願ひしたいのですが、最低四半期ごとに工事情報を更新してもらいたいなど。それで業者が1年間の受注が見えてくるとお願ひしますので、その辺をよろしくお願ひしたいと思います。

○熊谷局長 ありがとうございます。商工会と建設協会の要望事項等について説明が終了しましたので、これより（3）の自由懇談に入ります。今の商工会と建設協会の要望事項等も含めて質問ご意見等がありましたらご発言をお願いします。

○高山委員 今、資料等の確認をさせていただきました。現状は非常に数字的に厳しいというのはどちらの業界も同じだということは私も重々承知しています。ここ最近の発注の仕方についても、いろいろなご不満等もあるのではないかなというような状況も見えることは多々出てきています。正直なところ行政側にもたくさん要望を出して予算確保ということが一番やっていただきたいというのが皆さんの要望だと。当然僕らもそのような形で予算が増えることを望んではいるのですが、私も要望はするのですが、なかなかこの予算が付いてこないで数字が上がってこない。数字が上がってくる時にはもうこれ以上ないというような状態で、当初予算から見れば補正で組まれる量が非常に少ない。災害等が起きない限りは大体発注額としては予定どおり、逆に言えば先ほどおっしゃられたとおりの予定されたものが発注されないで痛い思いをするというような状況があるのは事実だと思います。長年いろいろと見させていただくと、行政側としては数字を大きくした段階での大体予定できそうなところの予算の組み方をされているので、結果的に決定されたものであればいいのですが、決定するであろうといったところも若干盛り込まれている部分もあって、それが執行上どうしても弾かれることが起きることも年に何件か起きているのも現状だということも非常に残念と思っておりますが、当然僕らもこの要望に対する数字がずれるというのは非常に皆さんにとって大きなリスクを背負わなければいけないことになるので、ぜひとも最低限予算化されて数字が上がってきて工事の種類が出てきた、物品その他いろいろなものも対して行政が町側から発注するものに対してはできる限り町内の業者を使用させていただく。できる範囲のところ、決定ではないのでこんな言い方してはいけないのかもしれないけれども、出来る限り皆さんに渡っていけるような方策を取っていただきたいというのは当然常々ずっとやっていることです。ただ、決めるのは発注者側ですから。そういったいろいろな噛み合わせといったところで一括でとかと言った工事が、いや入札行為があったり、若しくはバラバラに小さく分離した形を出してくれたりという方法は行政側もいろいろ考えていらっしゃると思うのですが、突発的にこの太めの数字の大きな形で工事を出されたり物品納入の契約を結んだりというようなことも多々

あるので、こういったことがここで商売をされている方々のことも考えながらそういったところはしっかりやっていただきたいということは私の方からも伝えておきたいと思いますので。私の方からは若干ですが、そんなことをございます。

○熊谷局長 米川議員どうぞ。

○米川委員 米川でございます。日頃皆さん方のご立派なご商売で納税義務を果たしていただきまして、町政を支えていただいていることについては本当に日頃からよく存じていますし感謝しています。

今、ここに要望書が出ていましたが、まず商工会からの要望のところの2番目ふれあいセンターいぶきの移管問題ですが、これは私は商工会がどうのこうのではなくて追分の街の中の賑わいを作るために街の中心地にあるこの建物を利用してほしいって、もう8年ぐらい前から町に言ってきて、そしてようやく30年の6月頃にOKが生まれて、そして民間団体が補助金事業みたいな形で利用した方がいいですよということで9月から事業を展開しようと思ったら地震になったものですから。それで、はてと思ったのですが、やはり計画したこともありましたので、次の月の10月からサロンをして町民の賑わいづくり、町民の憩いの場づくりに使わせていただいています。その中で大変好評なものですから、町にはそういった事業が自分たちだけでなくいろんな形で利用していただくためには民間の人たちが利用しやすい形にしてほしいというふうにならざるを得ないままに、そしてここに書いてありますように商工会の方の検討もいただきましてようやく実現化するような形に持っていけると思っています。ですから、この要望にありますこれについては町長の意向もしっかりこれを受けとめていきますので、要望に沿った形になると思っています。

それから建設協会の方の要望の2ですが、町の河川の改修工事を行ってほしいということですね。これはここに書かれている川だけでなく追分の街の中を走っています安平川においても、いろんな雑木が生い茂っていて水量が減っていることもありますし、ここに書かれていますように雨が降って木が倒れて、それが川を塞いで水害になるという、そういう心配もしているものですから。これだけいろんな川があるのももちろんそうですが、街の中を走っている川についても優先的にもう少し木を取り除くなどの清らかな流れを取り戻すような川になるような工事をお願いしてほしい。道の河川ということもありますので、町だけの意向に沿った形では仕

事はできないだろうと思っておりますが、こういったことも要望しております。結果はまだ出ていませんが、更に今ここで建設協会から要望が出ていますので、これも町の方に改めてお伝えした上で、議会の方で問題視しているのと合わせて実行していただくように強く働きかけをしたいと思っております。

それから道路のことですが、ごめんなさい、いいですか。道路ももちろんそうですが、早来ももちろんそうですが追分でも道路事情は悪くなっているので歩行者には危ない。車椅子の方からも危ないという要望が届いていますので、改めてここで伺ったことは、経済常任委員会の方で取りまとめてお伝えしていきたいと思っております。

○熊谷局長 ありがとうございます。梅森議員。

○梅森委員 梅森です、いつもお世話になっております。逆に質問して悪いのだけれど、商工会の方の要望事項で。具体的に令和6年度の現状ということで出させていただいて、今後も引き続き支援いただきたいとのことだけれど、決してこれで満足しているという意味ではないですよ。ね。(補助金が)多いに越したことはないと思うのだけれども、どういう点でバージョンアップをしてほしいとかそういう具体的なことってありますか。例えばプレミアム商品券だったら今まで3割増しだったのが今年は2割増しになって、町長曰くその代わり発行部数を増やしたんだという話をしているのだけれど、町民から言うと去年は今年だけ特別3割アップだよということで、お話を聞いていたのだけれど当然そういうことは忘れてしまっているんで、なんで今年3割から2割になったんだみたいな言っている方もいて、これは特にプレミアム商品券なので地元で買い物する、地元で使うってことで地元の皆さんの方に直にお金が入るので他所で使えるものではないからすごく有効でいいなとずっと思っています。私も利用させてもらっていますけれども。そういった意味で去年だけ特別3割だったのではなくてこれからも3割にしてほしいとか。そういうような、もっとより良い要望があるのかなという気はするのだけれども。これはまだ6年度実績なので、来年度に向けて例えばこれ以外の項目でもこうやってほしいんだというご意見があるのであれば、せっかくの機会なのでお聞かせ願いたいと思うのですが。

○商工会 プレミアム商品券については、コロナもあったし震災もあったということで30%。それで道、国の補助金が付いてそれで30%にしたのだけれど

も。ただ 20%でも私はいいのではないかなと。ただ、そこには枚数です。今年は一萬 1000 冊。その枚数をあと 1000 かそのぐらい増やしてくれれば問題なく一人 10 万とか 15 万とかになるのではないかなと思います。これから大体町も 20%がもう上限ではないかなと思います。

○梅森委員 私、地元のお年寄りとお話する機会が多いのだけれども、町営住宅に入っている方たちというのは福祉灯油とかいろんなのがあるのだけど、灯油は口座引き落としになっているのかな、支払いがね。だから灯油代で使えばいいしょと言っても使えないんだよね。冬越す時には福祉灯油とかいろんな補助事業はあるのだけれども、そういう本当に使いたいような弱い立場の方たち、町営住宅に入っている人を限定に話をすれば。私なんか特にガソリンとか灯油必ずあれなので、冬に灯油代が浮くのですごく助かっているのだけれど、その人方に聞いたらその人方使えないというのさ。なんでったら口座引き落としになっているので使おうと思ってもそれは利用できないのですよって。実はひと冬越すのにかなり多額の金額を投入しているんだと。だから、そういうのを例えば使えるようにすればそういう需要がもっと増えるかもしれないし、そういう希望が結構多いのですよね。そういう話は業者の方たちには伝わっていますかね。

○商工会 それはわからないな。

○商工会 ちょっとは聞いたことありますけどね。引き落としになるやつが使えないというのは。

○梅森委員 だから 10 万ではなくて 3 万しか買わないんだとか 5 万しか買わないんだっていう人は結構いるのですよね。せっかくだからそういうの利用できるように工夫してやることができれば更に需要が増えるのかなという気はしないでもないけどね。

○商工会 それは一般の家庭でも引き落としになっているところがあるからね。

○商工会 引き落とし止めて現金で払っている人もいるよね。

○商工会 ガスとかもその時期だけ引き落とし止めて、それで払っていると聞きますけどね。

○梅森委員　そういうふうにご利用してくれているならいいけどね。それと話戻りますけれども、これで満足しているという意味ではないですよ。他にも何か要望事項があるのかなと思うのですがどうでしょう。時間があるのでまた後にでもいいですし個人的にでも。私たちそんな詳しくはないけど6700万の補助金合計になっているけれども、例えばこれを1億円ぐらいまで持って行ってほしいんだということで数字で言うのは簡単なのだけど具体的に何をしてほしいというのを商工会の人たちが考えているのかということをお聞かせ願った方が私たちも具体的に要望を出したり役場と折衝したりすることにつながっていくので。決してこれで満足しているという意味ではないと思っているので、何かあったら遠慮しないで言ってほしいですよ。

○商工会　事業の拡大、商工会の。何の事業でというのは今わからないけども。

○梅森委員　次は建設協会の方なのですが。私、以前一般質問で取り上げたりして、仕事量のアップということでいろいろ話をしてきた経緯があります。具体的にどれだけの金額が皆様の方に回ってくるのかというのが正直わからないのけども。例えばさっき言ったような形で、今新しいものをたくさん作っていわばハコモノ。ハコモノ行政っていうのだけど、早来学園作りました。かなり大体学校とか消防とか大きいところ。今町民センターも作って、それが完成すると大体大きなハコモノの工事はほとんど無くなってしまいうちで、ちょっと何人かは話をしているのですが、新しいものを作ると非常に評価されて目立つのですが、逆に例えば早来中学校が震災で壊れてまだそのまま放置されています。負の遺産と言えいいのかな。あと町営住宅でも古いところがなぜかしら町の中の一等地にいつまでも残っている。ここの消防の庁舎もそうだし、消防の官舎もそのまま残っているということで、そういうものを例えば壊すということについて役場に確認をしたらきちんとした計画は無いですね。その都度その都度やっていくということでやっていて、私は個人的にそういうのってちゃんと計画立てて、10年計画とか20年計画で具体的にどこの町営住宅を壊してどうするか、消防はいつ壊してどうするかってそういう計画ないのと言ったら、はっきり言ってないのですね。

○鳥越委員長　なくはないです。



○梅森委員 まったりしたものはあるけれども、そのうちやりますってことで終わってしまうのですよね。じゃあいつやるんだっていう話になってくるので。そういうことで、必ずしも建設協会の方にとってみたら作るものもというのは大事かもしれないけど、そういうものを整理するという点についても仕事はかなり回ってきますよね。

○建設協会 解体の仕事があればね。

○梅森委員 だから、そういった面でそれを計画的に策定してもらって。その分今まではっきりしなかった予算付けがしていくので、そのお金は当然地元業者に落ちるといふ仕組みを作ってもらえれば、これから何年か先の仕事は確保できるのかなとか、壊す方であれば冬でもいいのですかね。季節的なものは関係ない。どうしても壊すだけであれば、冬の間仕事が減るのであれば、そういう後始末の事業について計画的に立ててくれて毎年今までなかったゼロだったものが毎年例えば5000万ずつかけて予算でやっていきますよと。そのお金は地元業者に落ちますよという仕組みを作ってもらうとある程度プラスになるのかなという気もするのですがどうですか。

○建設協会 いやいやよくわかっているじゃないですか。町の方に言ってくればいいですよ。それはそれでハコモノというか建築物ですけど。あと道路とか除雪から何からやりづらくて仕方ないのですよね、凸凹でしょう。中の通りだとかさっき走ってきましたけど、かなり酷くなっている。各町内の歩道だとか、草刈りもしないから歩道であって歩道でないでしょ。歩きたくても歩けないような、結構いるのですよ歩いている人、走っている人もいるし。あれでは走れないですよ、あんな歩道では。

○建設協会 仕事増えるのはいいのだけど、私が思っているのは諸悪の根源は一般競争入札なのよ。金額を1本にしてデカくしちゃって地元業者が取れない金額を発注されたってさ、この数字を見てもらうとわかるでしょう。令和6年度なんて1億2000万しかないんだよ土木工事。6社いるのですよ町内、土木で食っている人たち。6社で凸凹はあるけれども6社いて1億2000万ったら、たったの2000万だよ。2000万の仕事一本与えてやって会社を営んで、従業員を雇って重機を揃えたらどう考えたってできないでしょう。もう無理。だからよく今年どこも潰れていないなと思っているぐ

らいで、これあと1年か2年続いたら多分1社か2社無くなりますよ。それを俺は諸悪の根源は、例えば今町民センターもそうだけどああいう一本大きく出して一般競争にして、町内業者のJVが負けちゃう。したら取れないいくら仕事出してもさ。それは管理する方は一本にした方が楽だわ。だけどそれやっていたら町内業者は絶対生きていけないよ。そのうち業者が少なくなって、いざ災害だなんだっていったってできないしょ。町内の業者さんだって仕事は無いんだったらよそに行ってしまうですよ。その時に町内で何かあったらすぐやってたって、よその仕事やっていたら来れないよ。他のところの現場に行っちゃってね、例えば地方に行っちゃうとか、もう安平町では食っていけないからって。皆社員さんが皆総出で重機も皆そっちに行っちゃっていたら、いざここで何かあった時にすぐやれよと言ったって、そんなのできないでしょう。この金額見て少ないとは思ったけどこれ異常ですよ1億2000万だったらとても無理でしょ。こんな調子だったら来年も再来年もこんな調子でいくのなら。一般競争のやり方もいいのかもしれないけど、もっと金額を上げるとか工夫すればいいじゃんと思うの工夫を。一般競争しなければいけないのはわかるけれども。金額を上げて、先ほど梅森町議が言ったけど大きなハコモノはもう無いのだし、もっと金額を上げて、例えば10億以上だったら一般競争しますよとかね。今道の方は5000万以上だよ、一般競争確かそうだよ。5000万以上で一般競争やられちゃったら取れないよ町内業者なんて。そういう現実をもっと議会の議員の先生たちもわかっていただかないと。本当に俺よく持っているなと思う。

○商工会 町もお金が無いんじゃないの。

○建設協会 でもさ、あるところにはある。

○建設協会 多分、補助金頼みになっている物件がかなりあるので、補助金を国からもしくは道から下りて来ないと単費工事だけだと町は持たない。補助金頼みになっているのが現状としては多いので、やっぱりそこは工事を発注するのは難しいのかなと。まあ建物とかであれば補助金取りやすいのかもしれないけど、道路とか下水とか水道管とかはなかなか補助金というのは難しい持っていく方も難しい。

○商工会 それを付けるのが町長だろ。

○建設協会 そう。それを言っちゃあ、そうなんだけど。

○商工会 いつも上京しているけど。

○建設協会 そうですけど。やっぱり単独工事だと一本あたり何百万。それが3本、4本になって。補助金だと何千万とか3本、4本出てくるので。その違いが大きいのかなと、金額に出てるのかなと思います。

○鳥越委員長 昨年も地元業者とのバランスを考えてほしいという要望を毎年出しているのですが、町としては地元業者の受注機会の確保は十分認識しているけれども見直しには至っていませんみたいな、去年の回答はそうだったと思うのですけれども。去年のことを思い返して皆さんが入札の額の、さっき小山さんがおっしゃったように5000万でやられちゃったらみたいな。ただ、補助金絡みの単費ではできない町の事情もあるので、大きいものは補助金を利用してとなると、どうしてもまとめて大きな額にして入札に諮るとなっていくと思うのですよね。だから、下水が終わっていて今度は何が必要かといったら、水道の耐震化とか、町長の方も民間共同住宅の方にそれを建てる方に補助金を出す、町内業者に、というふうに今はシフトしているのかなと思ってはいるのですよね。解体とかになると、どうしても予算が余裕がある時しか、計画はあるのですが、順番もある程度は決まっているのですが、ただ、予算に余裕がある時しかそこに手を付けないというのがあるので、中学校もまだまだですし、追分の方も北公住っていっぱい道路の縁にあるのですが、ずっと苦情言われているのですがなかなかそこも順番が回ってこないのが実情かなと思ってますね。アパートの補助金の割合というか、それ活用されていますか。補助金というかアパート建設とか。

○建設協会 町内でやっている人いないじゃないですか。

○鳥越委員長 いないんだ。

○建設協会 全部他所だよ。安平3つ建っているのも他所だし、早来で今年うちの倉庫の横に建てたアパートだって他所だし。町内で建てられる余裕がないんだよ。そんな金持っている人いないから。

○商工会 前田とか。

○建設協会 いや、新しく更に建てようという人。土地を買ってまで、自分の土地で建てるならともかく他人の土地を買って建てようと思ったらやっぱり札幌のそういうアパート専門にやっている人には勝てない。早来なんかはラピダスも相まって土地も高くなっているし。

○鳥越委員長 建設協会からの要望の①の一年を通して受注機会を与えてもらえるようにしていただきたいということについては、私たち経済の方からも町の方に、当然今日なんかも朝3時から追分は除雪していただきました。無いと困るそういう事業の確保は大切だと思っていますので、この要望1については経済委員会としても要望していきたいと思います。

それから②の方、河川改修工事ですね。これは本当に昨日の追分の、あれ雪だけど雨だったら災害だよみたいな感じだと思いますので、本当でできるところからこういう河川の改修工事とかはやっていく必要があるかなという、経済側でも自覚は委員さんたちからも出ましたようにあります。

あと要望③ですね。下水道、やっぱり工事がだんだん落ち着いてきてしまったので、阿部さん、瀧本さんがおっしゃるように道路の凸凹のところが、町道のところですよ。あれも計画はあるのですが、なかなかその計画がうまくいっていないというか、全体に行き渡っていないんだなというふうに、強くこちらの方は町民からも私たち議員も目に付きますし、町民からも要望がありますので、こちらの方も工事を進めるように要望していきたいと思っています。

あと要望の④なのですが、今どのぐらい草刈りと維持管理というのは町から委託があるのですか。今そういう事業ってありますか。公園の維持管理。

○建設協会 大きい公園は指定管理だったり、

○高山委員 指定管理だよ。

○鳥越委員長 おっしゃっているのは小さい公園ということですよ。

- 建設協会 町内会の小さい公園。
- 建設協会 自治会でもやっている。
- 鳥越委員長 私たちも町内会・自治会とかで、町からここ点検してくださいって言われているので、それを点検してきつと駄目だったら町の方に伝えて、でも後日順番が回ってきたら直さなければならないものは直すとか。  
あとは草刈りは追分の方は町内会でやってくださいとなっているので、これをやっている会社が今あるのかなと思って。大きい公園に対しての要望ですか。
- 建設協会 いや、小さい公園。
- 鳥越委員長 小さい公園ですね。それも地域に任せるのではなくて業者に仕事としてくれという理解ですか。
- 建設協会 そうです。維持管理含め修繕も。
- 建設協会 団地とか要望したら除雪するようになったじゃん。
- 建設協会 シルバーとの棲み分けも重要なんだよ。
- 商工会 政策推進課に行ってみると、確か結構シルバーが多いんですよ。公園のそういうのって。
- 建設協会 本来なら土木業者さんがやるようなものをシルバーが取っちゃうから、シルバーが随意契約で取っているから。随意だよ。
- 鳥越委員長 シルバーも営業をかけているみたいで。すごい今の事務局長が意欲的みたいで。ただ町内会と自治会が手を出さないということはちょっとどうなのかなと、そのバランス大事だなと思って。
- 建設協会 だけ見る限り古い公園がかなりあって柵とかもボロボロだったりして。それを臨時でだったりシルバーだったりやっているかもしれないですけども。見る限りこの安平町は公園整備工事というのがもう何年もや

っていない工事の業者として。発注されたことが自分の知っている限りでは無い。

○高山委員 ない。

○鳥越委員長 早来って都市計に入っているじゃないですか。簡単に公園もいじれないと聞いて、それとはまた別ですか。

○高山委員 いや公園はいじれないよ。原則的に。指定されているから。

○多田議長 都市計の中で公園は法律に定められた面積だけ公園をつくらなければならない。だから行政も必要があって作った公園ではないものだから遊具についてもね、そういうことなんです。ですから必要があって作ったものであれば自分たちで投資をして効果を考えなければいけないのだけれども、開発行為をやるために必要な公園なものだから、それで開発が終わったら後はもう自治会にお願いしますで終わってしまうという傾向にありますそれは。

○鳥越委員長 今、都市計の見直しするのでしたっけ。

○高山委員 いやかけているけど。

○鳥越委員長 まだ、やっていないですけど。

○多田議長 苦圏都市計画は苦小牧圏域ですから、苦小牧との調整がどうしても。地元で必要だと言っても苦小牧の圏域に入っているとなかなか通らないですよ。

○鳥越委員長 でも、整備については

○多田議長 公園整備の時はね、

○鳥越委員長 今まであった予算なんか、例えばさっきの下水とかが無くなってきたということもあって、そちらの方の景観も、移住してくる方は景観をものすごく重視しますので、住民というか人口増やしていく中で整備と

いうのはこれからは重要になっていくかと思しますので、ここも都市計とか公園とはまた別に、さっき瀧本さんがおっしゃった公園整備工事というのはちょっと大きめに入れて、それで町内会・自治会がその合間の年度を埋めるみたいな、そういうのもあってもいいのかなと思しましたので、

○梅森委員 数はどのぐらいなの。必要としている数、公園の数。

○高山委員 結構あるんじゃない。

○商工会 シルバー人材が結構委託を受けていて、シルバー人材に何かを頼みたいと思ってもシルバー人材は今度人がいないのですね、そういう仕事をやっているから。

○梅森委員 シルバー困ってる、やる人いないから。

○商工会 そうなのですよ。だからそういう仕事をシルバーが取る、本当に必要でシルバーに頼みたい、でも人がいないからそれは無理だわっていうことは聞いたことがありますけど。特にこれから冬になると除雪とかになると、結局それ以外のところで働いていたりして、その分の人いないわっていうのはよく聞きますけど。それで見ると政策推進課のあそこには、かなり書いてあるのですよね、シルバー人材が委託、随契ば一つとされているのが。

○建設協会 シルバーはいわゆる簡易的な作業で、シルバーはおいしいところだけ取っていくから。おいしいところだけ。だからあれだけ随意契約でドンと。本当に 70 過ぎた 75 とかそういうお年寄りでもちょっと機械できればいいと。でも本来ならおいしい楽な仕事と本当に大変な仕事あるでしょ。そのおいしいところだけ持って行ってかれちゃって、じゃあこっちのきつい仕事は俺たちできませんって業者に安い単価でやらせる。だけど、それじゃあ業者はもう生きていけないんだよ、こっちもなければ。

○高山委員 それはわかるんだけどシルバーというのはちゃんと国で保護されている部分があるから全部が全部いい、全部が全部駄目だというわけではないので。ある程度メリハリがあって、それは普通にこっちがいいとかこっちが駄目というわけではなくて、ちゃんと法律的なものがあるから。そ

これは難しい部分がある。ただ、僕らも自分の町内会の会長をやらせてもらって自分がやっているのは3か所もやらなければいけない。3か所年に何回やるかと言われたら正直言って自前でやるのはクタクタだ。できやしない。お金があつたらそっちに回したいぐらいこの自分でやらなければならない苦痛さはこっちにもひしひしと伝わって。業者が困っているなら行政側に何とかしていただきたいというのは僕も実感しているので、当然発注する側としてはこういうのも必要ではないでしょうかというのは考えていただきたいという部分と、公園の整備については僕も非常に何回かお願いした経緯はあるけれども、まずは先に大きな公園を整備してからやりますというお話はするけれども、現実的にはそこから先は進んだことがない。また、管理するに対しても自治会がどこまでやらなければならないかもわからないし、遊具については年間通じて遊具を受け持っている業者が何回か点検に来るのか来ないのか、僕の公園では4つ5つあるけど使える遊具は1個しかない、ブランコしかない。そんな状態で他にも遊具があるのだけど結果的にはもうそこには子どもがいなくて使えないけど、ボーボーにするわけにはいかないから草刈りはやらなくちゃならないというこの状態は、各町内会も同じなんだろうなと思ってます。だから、こういうところの問題点は行政側に伝えて、新たな方策を講じてもらえるような形をある程度考えていただきたいとは更に要望はしていきたいと思います。

○鳥越委員長 改めて公園整備という1つの仕事と捉えて要望していければと思っています。

要望⑤なのですが、予定していた業者さんが工事が取れない場合があると。年に2回だと無くなる場合もあってと、先ほどそういう説明でしたよね。だからそれをずっと閲覧できるようにというか、

○建設協会 閲覧というか更新。

○鳥越委員長 更新。常に更新してほしいと。

○建設協会 4月1日にホームページで出る。次は10月1日なので。そしたら4月1日に出た時にこの工事いいかなと思ったら第2四半期に出るんだべなと思って待っているのですが、自分たちも忙しくなってくれば地方の業者をお願いして、この工事あるから、取る予定で頑張るからよろしく願いますねってその業者をお願いしていきざ発注情報見たら消えちゃっ



ている。

○鳥越委員長 どうして消えちゃうの。

○高山委員 予算付かないから。国の予算。

○鳥越委員長 ああ、そういうことね。だから消えている、出ているが常に見られるようにしてほしいということですね。わかりました。

○建設協会 消えているなら早めに状況がわかれば。

○建設協会 あと、物が無い。

○鳥越委員長 物が無い。

○建設協会 発注するのが遅いから、納期が間に合わないのよ。

○鳥越委員長 それで後で計画が変更になるみたいなことですね。きちんとずっと見られるようにしておいてくれば、予定して資材も準備できるけれども、そのボンと来られたらいざという時には資材が無くて、後から予算の組み替えとか変更しなければならない。それを怒る議員さんたちもいるのですけど。

○建設協会 うちは2回だけ道はその都度工事があれば、消えたりすれば更新だってしてくれているので。だから消えたのであれば取り消したっていう一覧の更新が出たり、これから新しいのが出るよっていうなら一覧表にまた載せて。それが10月1日だと遅いかなと思って。

○鳥越委員長 それはずっと見られるようにしてくださいって。できないとなったら何でできないのかはちゃんと確認しますので。

○建設協会 4月1日が、8月に見ても4月1日なんだよね。

○鳥越委員長 道がやれているのだったら法律とかそういう制約があるのかなと思ったら、道がやっているとおっしゃったので。努力していただきたい

とお伝えしておきます。

○高山委員　それがベターだよな。

○鳥越委員長　議会でも設計変更とか、さっき渡辺さんおっしゃった、その時になって資材が無いということで設計変更をすごく議会でも、なぜ設計変更するんだってすごい追求されるので、そういう事情があるということであればきちんと予定して工事ができることが望ましいので、それは町の方もまた設計変更かって言われ続けてここ何年か続いているので、お伝えしておきたいと思っています。

商工会の方ですが。先ほどプレミアム商品券のことは出ましたが、どうしても人間って良い時のことしか記憶に残らないので、私も今年言われました。30%じゃないから買わないとか、買わなくて大丈夫ですよとは言っておきましたけれども、要望は出してもいいのかなということと、あと創業塾支援事業って出ていますよね。これ毎年大体似たような予算34万ぐらいで令和6年が30ちょっと何千円かだと思うのですが、こちらどうですかね。効果とかもっと増やした方がいいのではないかと。

○熊谷局長　ちょっと変わったのは講師の旅費が変わったのです。

○鳥越委員長　それが5000円ぐらい違う。そういうことなのですね。これで足りるのですか。

○熊谷局長　例年2回やって、これも2回分。

○鳥越委員長　2回でいいのですか。今結構増えてきていますよね。新しい事業者さんも。やめていっているところもあって事業継承って難しいんだなって地域を見てもわかるので、新しい人を求めていくのが一番ベターなのかなと思う中で、この支援事業がいつもこの34万ぐらいでいいのかなっていう、

○商工会　結局受講する人が例えば2回に分かれているので、ある程度の人、4人とか5人とか6人は来るのですが、3回、4回となると講師の先生に来てもらって1人か2人みたいなような状況もあるし、夏と冬に今やっているのですけど、5日間ずつぐらいですかね。

- 熊谷局長 5日間ずつ。今年8月と1月に。来年の1月にもう1回。
- 鳥越委員長 今までその創業塾の卒業で新規オープンできているのが、
- 商工会 うどん屋さんとビール。
- 鳥越委員長 うどん屋さんとビールと。シフォンもそうですか。あと追分のクッキー屋さんもそうですよね。灯菓舎とかおむずび。
- 商工会 僕も何年か前にやっているんですよね。あとあれですよね、遠浅のパトラッシュさんも受けていたような気がする。受けて補助金を貰って。遠浅のパトラッシュさんも受けて創業しているという。一番のところは、それ受けると町が出している創業補助金というものが受けられるのが一番デカイことで、いろんな勉強しながらいざ起業するとなった時に条件をしっかり整えれば最大、空き店舗活用で250万、そういうのじゃなければ200万という補助金が出るのですよね。そのためにといたらあれですけど。
- 高山委員 でも大きいじゃないですか。創業資金250万はデカイ。
- 鳥越委員長 この経営改善普及事業っていうのが令和5年よりは6年の方が上がっているのですけど、こちらってどういう。
- 熊谷局長 職員の人件費。
- 鳥越委員長 職員。
- 商工会 あと道の補助金。職員の。
- 鳥越委員長 職員って商工会。
- 熊谷局長 商工会。事務局。
- 鳥越委員長 商工会なんだ、そういうことですか。じゃあここはそんなに…わかりました。青年部地域振興事業というのは、何か私毎年これを見てい

て、婦人部とか青年部にもっとお金入れて勉強とか行ってきたらいいのではないかなって思うのですよね。

○商工会 勉強とか研修会は別途予算立てしているので、

○鳥越委員長 それは商工会の中で。

○商工会 中で。町からこれに追加してもらえれば、それはそれで回数が増えたりとか。いろいろ縛りがある中で普段やっていると思うので、自由にではないですけど地域振興に関わるということの、ちょっと間口を広げてもらえると使い道は。

○高山委員 活動事業でしょ、青年部のね。

○商工会 これは僕が青年部長だった時に、当時の瀧町長に直談判してもらったやつなのです。発祥は神輿、子どもの神輿が40年以上ずっと続いている歴史的な事業だから、これ止めちゃったらできなくなりますよと話したら、それだったら大人神輿にこれだけはかけられないけど、子ども神輿だったら宗教的な問題もあまり関係ないから、これは予算付けしようというのが発祥だったのです。それプラス、今はガイアナイトとかに移行しつつ両方の事業をやる。

○商工会 子ども神輿は子ども神輿と、あとはガイアナイトに振り分けて31万6000円。

○商工会 もうちょっとあればガイアナイトももう少しいろんな宣伝もできるでしょうし、いろんな人を呼ぶことができるかなと。ほとんど手弁当で皆さん出演して、ステージに上がっているみたいなので、そこをもう少し青年部に全部…

○鳥越委員長 振興事業がもっと、ガイアナイトは毎年見に行かせてもらっていますけれど、もっとあってもいいのかなと、青年部とか婦人部の方がやるのがベースで新しいお店ができるのはすごくいいのではないかなって勝手に思っているのですけど。このお金足りないってことですよ、そうしたら。

- 商工会 予算付けしていただければ、それなりに成果は上げてきていますけど。少なかったら少ないものしかできないし、投資する価値は十分あると思うし、僕もここにいるほとんどの人たちは青年部上がりの人たちなので。10年後、15年後にこの町の商店街を背負って立っていく人材育成という意味も十分入っているのかなと。
- 商工会 青年部から直接行っていますよね、町に予算要求。
- 商工会 商工会の直接女性には入っていないけど青年部だけにこの金額が来るように…
- 鳥越委員長 女性部にもあってもいいかな。そうですね多分ね。これずっと変わっていない金額ですよ。わかりました。
- 商工会 端数まで同じです。もう頭の中に記憶されるぐらいずっと 31 万 6000 ね。
- 鳥越委員長 会長に要望しないと駄目だよ。
- 商工会 無かったら無いなりに我慢して若い人たちはやるので。
- 鳥越委員長 それも面白いとは思いますが。安平町デマンドバス運行事業ってあるのですが、これは毎年、これも同じような予算なのですが、これによって商店街とかに効果ってありますか。わかりづらい。デマンドバスは自分で商工会に申し込んで予約して乗るやつなですよ。ただ、M O N E T がすごくお金がかかるので今回の決算で、やめた方がいいのではないかと私提案してしまったのですが、デマンドは農村地域の人がすごく喜んでいる事業だと思っているのですよね。これによって、その商店街に影響があるかどうかはわかりづらいですか。
- 商工会 ハイヤー 1 社は存続していく上で、デマンドがあることによって事業を撤退しなくても済む又は早来の方で復活するというつながりになっている。これが無かったら本当にハイヤー会社自体が無くなるっていう。

○高山委員 交通網もいろいろと、もうめっちゃめっちゃになっている事業があるのが現実だと思う。

○商工会 デマンドバスは、これから考えていかなければダメだと思う。ただ、バスばかり安平町は多すぎるから、循環バスとかデマンドもある。その予算だけで何千万なんじゃないの。

○鳥越委員長 そうです。

○商工会 だから公共交通会議の中でもどういうふうにするんだと。何か1つか2つにするかってことにしなかったらすごい予算になるでしょ。

○鳥越委員長 そうなのですよ。バスってすごくお金がかかるので。ハイヤーが本当は充実していると、そちらの方が一番使い勝手はいいと思うのです。デマンドが使いにくい高齢者もすごく多くて、結局何時のJRで千歳の病院に行きたくても、その時間までに何件か寄るといつ着くかわからないというのがあって、でも今タクシーは予約ができないので、1日1台しかないから基本予約はできないのです。町外に行く時だけはあるみたいですけど。デマンドバスの方の補助金で支えられていると。

(録音機材切り替え)

○鳥越委員長 カラでもないのですよ。

○建設協会 俺の友達が遠浅から追分に1時間以上かかるって。

○鳥越委員長 今あびら医療バスって、追分クリニックに遠浅、早来、安平ってタダで追分クリニックに行けるバスも1日3、4回往復ぐらいしているのですよね。だからバスだらけと言えばバスだらけなのですけど。その効果があって早来の住民の方が結構な数で追分クリニックに今増えているって、良いのか悪いのかはわからないのですが。あと循環バスは定時に来るという利点。ただ、いつでも来るので空き空きのところを見て、あんなの走らせていいのかとも言われています。

デマンドはさっき言った農村地域の人はずごく喜ぶます。けども定時に着くかどうかの不安もあります。

ハイヤーはすごく便利だけど呼んで来るかどうかは一か八かです。本当に来ない時は来ない。もう祈るような気持ちで来ますかみたいな。だから午前中追分地域はもう1台遠くに、例えば千歳とか苦小牧とか1台行ってしまうので高齢者が困るので、病院やっている時間帯だけデマンドの予約が入っていない時はデマンドのドライバーさんがもう一台の車を走らせているっていうことはあるのですよね。ちょっとその公共交通については整理する必要と、それから必要なものを維持していくバランスが必要なのかなと思います。あとポイントあびら。これを始めてからどうですかね。等倍交換みたいな。

○商工会 僕もポイントあびらの理事に入っているのですが、ここら辺皆入っていますが、上がっているというか去年の年末にもポイントあびらジャンボとって、1等10万ポイント当たる、10万ポイント当たるっていう広告を出しているから結構話題づくりに頑張っている。あとは月々やっているのはポイント倍セールみたいな感じで購買意欲を少し高める。町内で買い物する機会を増やそうというのはやっていますが、ポイントを貯めるばかりで、それを現金化してそこのお店で使うという、安売りを税金を使ってそういう仕組みの他のポイントカードとかと同じような感覚になっていて、僕らがやるのは安売りの手助けではなくて、そういうのはお得感を出すのだったらプレミアム商品券だったりそういう事業を既存として確立して、それはそっち。ポイントあびらはもっと魅力があるポイント事業にしていけないというのはよく会議の中では言っているのですが、なかなか特効薬はなくて、生みの苦しみを今感じているところです。この予算の中でしかできないことの発想しかないのですよ。それじゃなくてもっと魅力がある事業をやろうって言ったら、町の方だって結構推している事業ではあると思うので、その魅力の事業に対しては投資してくれるよという話をしているのですが、本当かと。それもいつまで続くのかと。この500万も今年で切られるのではないかと、来年で切られるのではないかとびくびくしながらこの予算を使いきるために何かやろうみたいな。まあ小さい発想になるので。もう500万にこだわらなくてもいいんだよっていうところを引き出してほしいのです。えげつない金額はもちろんできないでしょうけど、500万が1000万になってもそれに値するリターンがあるというものがしっかりとあるのであれば予算づけしてあげますよというところを本当は引き出したい。

○鳥越委員長 どの県か忘れましたが、銀行のカードと地域のポイントが一

体になったカードを作って、だからすごく活用もされているし、地元に落ちるお金の効果も高いついて。今、一自治体だけでなく、金融機関とくっついているのがすごい大きいみたいで、この辺だったら道銀とかが両方の地域にあるから道銀とタグを組むとか、道銀がそういう事業をやっているのは聞いたことないので難しいかもしれないですが。例えば今郵便局は絶対どこでもあるので、そこの金融の方とくっつくことはきっと事例として無くても、その地域としてやれないのかとか、そういうふうには得だと皆手を出すんですけど。

○商工会 サツドラとそれを。

○商工会 今やっているのは、北電のエネモールのポイントと。

○鳥越委員長 この間その説明書が来たのですが、事業所側ですけど全くわからないので説明できないのでしまつてあります。

○商工会 事業所の法人のやつは 200 ボルト契約だとかってあるところは、うちもそうなんですけど、それはエネモールとか関係ないので、付かないので本当に一般住宅。

○鳥越委員長 どういう意味と聞かれたら怖いので出していないのです。

○商工会 個別に相談してくださいと言われました。

○商工会 経済効果っていうのは定かではないのですが、はっきりとした数字が各店舗に出ているわけではないのですが、去年のあびらジャンボをやった期間だけを見れば、ポイントの活用は物凄い額はいったんですよ。

○鳥越委員長 ポイントを活用して買い物をしたということですか。

○商工会 買ってポイントを付けるとか、そのポイント付与分が3か月分、4か月分ぐらいを一気に2週間ぐらいでとかはあるのですが、

○商工会 年末は買い物シーズンなのであれですけど。



- 鳥越委員長 結構木曜日が倍とか5倍とか3倍とかやっているじゃないですか。皆持っていて使っているお姉さま方は、木曜しか買い物しないと。それはそれでどうなのかなって。
- 商工会 賛否両論ですね。それ目がけて町外じゃなくてこっちにきてくれればという1つのあれにもなるし、木曜日しか来ないというのは賛否両論です。それはそれで活かしながら、違う時にも買い物してもらえような方策を考えていかなければならないので。これやっているから今月、今週いやということではない。ポイントを貯めてそれをお得に使うんだというような目玉のものが事業にはすごく必要。
- 商工会 購買意欲高めるためにそれが必要で、ただ我々もさっき渡辺さんが言ったように安売りをするようなことはしたくないので、購買力を高めてもらったものを何か別なもので還元できるようなシステムが一番いいのかなと思うのですけど。
- 商工会 ポイントあびらを持っていることのメリットを、うちらもいろいろ考えているのですけど。例えばそれがあると去年とかエスコンフィールドに行けるとか、そういったイベントを打ち出したりとかですね。持っていることに対してのメリットをもうちょっと考えてくるべきだなと、会議やるたびにいつもその話をしているのですけど、予算あつてのことで、予算の中でできる範囲をやっていくとなると、どうしても大きいことを考えて、各商店がそれぞれ頑張っていることはやっているのですが、でも一丸となってやるためには町もいろいろポイント出しているから、そういったポイントも活用しながら、もうちょっと中身を魅力のあるものにやっていきたいのが今後のずっと考えにはあるのですけど。
- 鳥越委員長 もう少しメリット、今あるものという。やっぱり人はメリットがあると活用したくなるので、この金額にこだわってというのは事業者としては大切だと思うのですが、でも計画してみるというのも会長で予算を出すとかやってみるのもありかなと。ずっとこれだったらだんだんとジリ貧になってしまうのではないかなと心配はあります。
- 米川委員 早来と追分と両方で使えるというのが、それはいいと思いますよ。私なんかお年寄りとお付き合いしているのですけど自分自身も歳とったこ

ともありまして、やはりちょっと贅沢したものをこのポイントがあるから買おうかなという気になるのですよ。普段節約していてもポイント貯まったから楽しみになっているところも、そういう楽しみのために使っているという方もいらっしゃるのですね。これは無くさないように私としては町の方に働きかけていこうと思っています。今あびらポイントは、いろんな意味で町民にボランティア活動だとか参加を促していますけど、そういうボランティア活動する人についても1回50円のポイントが付与されていますのでね、そういう事業でポイントが付与される事業を多くしていけるような町民の活動をもう少し支えていってほしいなど、私はこれから町に要望していきたいと思っています。

○鳥越委員長 2番目のふれあいセンターいぶきの関係ですが、商工会の総会の中でも出していただいていたので、今回うちの事務局に整理していただいて、いぶきの譲渡については令和6年第6回臨時議会ですね、7月19日の行政報告において議会で報告されて、その後、今年の10月25日の全員協議会、先日なのですが。譲渡後の活用の考え方について説明が町からありました。既存利用者の継続利用と新規団体等の利活用、それからオフィス利用等をはじめとする経済機能の拡大の3つの方向性で活用する旨の説明が一応ありました。今後どうなっていくかは、まだ譲渡されてもいけませんし、商工会側と町の方で相談していただいて、その中で出てきたものを私たち委員会なり議会でまた揉ませていただきたいと思います。

○商工会 いぶきの無償譲渡につきましては町が受けると。けども今、商工会として本所と支所がある。それが事務局の統合。それが1つの問題。  
それともう1つは会員のアンケートを取りました。これが今まとまったかな。

○熊谷局長 これからまとめるところです。

○商工会 回収は済んでいるし、これからまとめるあれなんだけど、それを今度まとまったやつをいぶき管理運営委員会にかけて、そこで話し合いをして、それから理事会にかけるというあれになっています。

○鳥越委員長 そういう流れだということですね。他、建設協会の方から何かないでしょうか。もう言いたいこと、大丈夫ですか。

○建設協会 すみません、ちょっと。

○鳥越委員長 はい。

○建設協会 建設協会からの要望になるのかもしれませんが、昨日、雪の関係だったのですが、追分地区は結構雪が降った影響がありまして、木の枝とかについた雪とかがですね高圧線に触れてそれで停電になってしまっ  
て。結構追分地区はあちこち停電になってしまって、結構うちに電話来ていたのですよね。そういう維持管理になるのかもしれませんが、そういう高圧とか危ないところは業者でないとできない部分があるのですが、町道とか道道は手が出せないかもしれないですけど、そういった自然発生的に伸びた木とか枝とか将来的にこれ危ないよなという部分が、結構台風の時もそうなのですが、これ誰が処分するのかなとか、町民の方からも結構聞かれたりするのですよね。という部分の維持管理といった部分を町内業者ができるのであれば、そういった部分もやっていけばいいのかなとは思うので、ちょっとその辺検討していただければと思いますので、よろしくをお願いします。

○鳥越委員長 昨日は倒木とか枝折れとかすごいあったみたいで、それでコムカラも通行止めになっていたみたいなので。これからの雪ってああいうのが増えてくるかもしれないなと思いました。はい、要望として。

○建設協会 この間うちの方で、うちの除雪の路線ですが、枝払いをやりました。枝もしばらくやっていないので、もう重機に触るので。

○鳥越委員長 それは発注があったということですか。

○建設協会 いや、やりたいけどということで土木の方に行って、担当者に言って処理しました。枝はエコテックの方で引き取ってくれるので。

○建設協会 道道もね所有者の関係もあるから。

○鳥越委員長 そうですね。

- 建設協会 勝手に切れない。
- 建設協会 北電とNTTの関係もあるから、勝手にやれない。だから倒れて電線にかかれば北電に願います。北電で処理してもらおう。
- 鳥越委員長 その建設協会の事業所の方からのご意見とかいただきながら、地域がどういう状況なんだっていうのを空家と同じように、データをそういう、
- 建設協会 勝手にちよせないんだよ。
- 梅森委員 町有地だと問題ないの。
- 建設協会 この間も桜の木が、このくらいの木が道路つち歩道ギリギリで植えてあって、もう歩道に被っているのを切りますからって、除雪に支障あるんで切りますからって言ったら、そこのおばあちゃんが苗から育てたやつなんだと、邪魔になるなら切って良いよと。その代わり枝切ったところにペンキ塗っておきますねって腐らないように。いや、ペンキじゃダメなんだと、この薬を塗ってくれてそれを渡されて枝払いやりましたけど。
- 鳥越委員長 大木になればなるほど、切ると良いように思わない人とかもいるじゃないですか。絶対邪魔だよねというのも切ればいいのにとっても切らない。何かがあったら嫌だから切れないとか。
- 建設協会 昔ね、うちの自治会で勝手に切ったら怒られてね。えらいヤキが入ったけど。民間の枝は切られない勝手に。断ってからでないよ。
- 鳥越委員長 でも大きな災害になったらなおさら困るので、調査とかデータの積み上げとかあってもいいのかなと今お話聞いていて思ったので、これも町の方にお伝えはしておきます。ありがとうございます。
- 建設協会 事前に切るとかなかなかしないですよ。台風とか何とかで枝が道路に被さったとか木が倒れたとかで通行止めになったら役場から連絡来て、あそこ木が倒れているからやっつけてくれって言われて、事が起きて

から始まる世界でなかなか事前にはやらない。

○鳥越委員長　でも結構それによって去年か一昨年もプラテックの、追分の裏通りが通行止めになってしまって、あれも民地から木が倒れて大変だったりと、だからやっぱり持ち主にも伝えていくことが大事なのかなと思うし、できないのであればどうしていかも考えていかなければならないかなと思うので。これは伝えていきたいと思います。ほかに何か。大丈夫ですか。

○高山委員　ちょっと。

○鳥越委員長　はい。

○高山委員　先ほど商工会のところで言われた青年部の地域振興の事業費の固定的に 31 万 6000 円。これが頭から離れないほど固定化されている。やっぱりこれどこか抜かないといけない。事業費がこれで鉄板だと言われてこれで終わりだという話ではなくて、結果的にやりたいことをやる、要求する、手伝ってくれという話を伝えていかなければいけないと思っている。あと、あびらポイントにしても結果的にはこの 500 万で何とかしなければならない。これいつも同じ考え方で抜けない。これも同じでやろうと思っているものは予算要求というのはあくまでもこれに対して付けてくれという形の話でないと、頭から上限これだからねって決まっちゃったらこれで何とかしよう。当然商売人だからこれで何とかしようと言ったらこれで何とかするんだけど、それだけではいつまで経っても進歩がない。やりたいということがあればそこからプラスアルファにしていく形に要求があれば、こちらも全力で応援していきたいと思うので、何か金額がいつも同じだという捉え方はするのではなくて、どうしても行政側は縮めようとするけれども、やろうとしていることがあるのであれば当然要求して、これをやりたいという予算要求していかなければいけないので、できればそういう形で前もって言うのであれば逆にこれ推しなんだよねっていう話が言えるのだけでも、もうこの鉄板で止まっていて上限が決まっているよという話は、そうではなくて超えていこうと。予算は無いかもしれないけど要求はできるのではないかなというところはチャレンジすべきではないかなと、こちら協力したいなと思っています。

それと協会さんの方も言っている、会長がおっしゃられているとおり非

常に数字的に厳しくなっていて、除雪の金額にしても上限が大体決まっていて活動時間っていくらって。じゃあこの人たちを雇い入れるのにどれだけの費用が会社側に受け持たないといけないのかとなった時に、この時間外労働って非常に除雪って多いので、こんな基準って本当に守られているのかなって、夜中走っていくらの世界なのに、この人たちの金額が本当にちゃんと出ているのかなってという不安があって、それでないとだんだん雇用もできなくなるし安定的な収入にもならない。頭がこれで決まっているからこれ以上無理だよっていつも言われて、補正では後から入れてくれるのですが、でも、もともとの金額の設定の仕方に問題はないのかなって、もっと洗い直しをしてもらいたいという部分で多分僕はあるのではないかなと思うのですよね。ただ雇用すればいいとかあとは任せれば業者がやってくれるという話ではなくて、根本的な最初の数字の出し方として、折衝の仕方として条件的にはもうちょっと改善すべき必要性はあるのではないかなと。

○建設協会 除雪に関しては上げてもらうのに越したことはないのです。ただ、除雪するたびに、日々の受注ももっと多くしてもらわないと確保できません。人間の確保ができない、オペの確保ができない。そこなのです。除雪は大したあてにもしていないこのぐらいの雪では。岩見沢とか留萌とかああいう大きい雪が降るところであれば工事発注の2、3本はいつぺんに冬だけで稼げるっていう世界になるけど、この辺じゃもう知れているので、だからやる人がいない。それをやるためには日々の金を貯めておかなければならない。こちらは夏場稼いで冬に食われるのです。僕のところはそれの繰り返しなのです。

○高山委員 予算の組み方として最低限、土木工事どれぐらい必要か、建設工事どれぐらい必要かというラインというのは当然必要になってくるのかなって。それでなかったらある時はドーンとあるけどない時は全く動きが取れない状態というか、やっぱり均一化してもらえればそれなりでも安定ができるのだけでも、

○建設協会 だからやっぱり冬の仕事の量だとか1年を通じて来てもらえばあれなのですけど冬は除雪だけ。さっき会長が言ったように早来地区なんて7回とか8回でればそれで終わりだから、じゃあ後どうするのってことになるので。やっぱり雇用の面も含めて一年を通して雇用できるような体制

にしてもらいたいなど。

○鳥越委員長 例えはなのですが、さっき要望あった案件あるじゃないですか。河川のこととか町道とか、そういうのを建設協会に丸投げして振り分けるとかできるのですか。

○建設協会 できないな。

○鳥越委員長 できないですね。

○建設協会 役場からも言われているのですよ。組合作ってくれって。

○鳥越委員長 いや、だから私も昔よく西村次郎さんが会長だった時に、談合だの何とかってすごく言われていた時期があったじゃないですか。安平町建設協会みたいなのを作って部署で回すみたいな、このお金の配分とか、ここの部署が河川な今年なみたいなことってできないのですかって言ったらできるわけないべって言われたのですが、素人なので。でも、そうしないと取るところはとる、取らないところは取らないということ起きてしまうのかなって、事業を発注しても、今ちょっと思っているのですよね。

○建設協会 この間も言われたばかりなんだ組合作ってくれって。これがなかなか難しいです。皆仲良しに見えるけど仲良しではないから。一応ライバルだから。

○鳥越委員長 私たちと同じですね。

○建設協会 おお、そうなのよ。

○鳥越委員長 今は無くなったと思うのですがけど合併したばかりの時はあっちばかりとかこっちばかりってすごい聞いていたので、町も発注しにくいのかなとか。でもこれ言われたことは必要なことなので、やっていかなければならないですし、困った時だけ頼むということにもならないと思うので。そのためにはその事業主のその会社を事業所を維持していく必要が絶対あると思うので、伝えていきますが、組合を作る方向で考えていた

できればなと思います。町もやりやすい方法で事業所も受けやすい方法があるといいなと私は思います。

○建設協会 町から2億貰いました、業者が6社がいます。それを均等に分けるわけにはいかない。

○鳥越委員長 ドント方式ですもんね。

○建設協会 均等に分けると問題が起きるのですよ。

○鳥越委員長 わかります。考えていきましょう。

○建設協会 難しいんだわ。

○鳥越委員長 町も発注したいかもしれないですけど。

○建設協会 でも思い切ってやる時代が来るとは思いますけどね。

○鳥越委員長 皆さん維持したり私たち町民も無いと困る、皆さんも会社を維持していきたい、従業員を守りたい、会社を守りたい、町もそのために発注したいと言ったら、やっぱり今までの仕組みでは駄目になってきているのかなと。

○建設協会 震災の時に我が家のことだけど冷蔵庫が倒れ、茶箆倒れ、箆倒れぐちゃぐちゃになりました。半日だけ自分の家やってくれたの。あとは町から連絡が来てあっちが倒れたとかずっと出っ放し。2週間家に戻って寝るだけです。

○鳥越委員長 何かどこかでそういう取り組みとかしているような建設協会系はないのですかね。皆上手くやっているのですかね。とは私は思わないので、必ず何か新しい仕組みはこれから必要になってくると思うので。

○建設協会 どうかしないとダメだからね。

○鳥越委員長 お互いに考えていきましょう。



○熊谷局長 よろしいですか。それでは長時間にわたってお疲れ様でした。本日の懇談会は、これにて終了したいと思います。お疲れ様でした。

(終了 午後6時34分)

会議の経過を記載してその相違ない事を証するため、安平町議会委員会条例第26条の規定に基づき、ここに署名又は記名押印する。

令和 年 月 日

経済常任委員長

---